

令和7年度 興譲館高等学校 通信制

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
国語	現代の国語	2	6	1

使用教科書

東書	現国	701	新編現代の文学国語
----	----	-----	-----------

目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
○こそめスープ ○ルリボシカミキリの青	6 ～ 17	1	12月15日 (月)	7月23日 (水) 12月8日 (月)
○未来をつくる想像力 ○水の東西	24 ～ 38	2		
○スキマが育む都市の緑と 生命のつながり ○無彩の色	68 ～ 86	3		
○鍋洗いの日々 ○森で染める人 ○真夏のひしこ漁	94 ～ 11 5	4		
○美しさの発見 ○りんごのほっぺ	142 ～ 158	5		
○不思議な拍手 ○真の自立とは	166 ～ 187	6		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
国語	言語文化	2	6	1

使用教科書

東書	言文	701	新編言語文化
----	----	-----	--------

目 標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
○さくらさくらさくら ○「美しい」ということ ○とんかつ ○雨漏りの音	10 ～ 44	1	12月15日 (月)	7月23日 (水) 12月9日 (火)
○柳あおめる【短歌】 ○雪の深さを【俳句】 ○冬が来た ○少年の日 ○I was born	50 ～ 65	2		
○羅生門 ○夢十夜 ○デューク	72 ～ 116	3		
○徒然草 ○枕草子 ○折々のうた	138 ～ 163	4		
○伊勢物語 ○平家物語 ○奥の細道	170 ～ 1 95	5		
○訓読の基本 ○故事成語 ○絶句と律詩 ○論語 ○史話	210 ～ 2 53	6		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
国語	論理国語	4	1 2	2

使用教科書

東書	論国	701	新編論理国語
----	----	-----	--------

目 標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポ-ト		スクーリング
		回	提出期限	
○対話とは何か ○世界をつくり替えるために	8～24	1	12月15日 (月)	7月23日 (水) 12月8日 (月)
○少女たちの「ひろしま」 ○「ふしぎ」ということ	26～54	2		
○学ぶことと人間の知恵 ○ラップトップ抱えた「石器人」	56～74	3		
○思考の肺活量 ○安心について	76～100	4		
○弱肉強食は自然の摂理か ○複数の「わたし」	102～122	5		
○はじめに「言葉」がある ○楽に働くこと、楽しく働くこと	124～166	6		
○最初のペンギン ○豊かさと生物多様性	168 ～184	7		
○物語の外から ○カフェの開店準備	186 ～208	8		
○鏡としてのアンドロイド ○ロボットが隣人になるとき	210 ～230	9		
○言葉は「物の名前」ではない ○科学的「発見」とは	232 ～260	10		
○知識における作者性と構造的性 ○もう一つの知性	262 ～280	11		
○ホンモノのおカネの作り方 ○未来のありか	282 ～301	12		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
国語	文学国語	4	1 2	2

使用教科書

東書	文国	701	文学国語
----	----	-----	------

目 標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポ ー ト		スクーリング
		回	提出期限	
○光の窓 ○雨月物語 ○山月記	8～ 33	1	12月15日 (月)	7月23日 (水) 12月9日 (火)
○窓 ○言葉を生きる ○詩と感情生活	34～ 56	2		
○山椒魚 ○沖縄の手記から	58～ 92	3		
○鉄 ○竹 ○永訣の朝 ○硝子の駒 ○モードの変遷	94～ 114	4		
○こころ	116 ～148	5		
○文学のふるさと ○文学の未来 ○鞆 ○あの朝	150 ～188	6		
○国語から旅立って ○書かれた風景の中へ ○檸檬	190 ～216	7		
○コンビニの母 ○夏の姿 ○帰途 ○小諸なる古城のほとり ○金剛の露 ○平気	217 ～246	8		

通信教育実施計画

○空っぽの瓶 ○クレールという女 ○父と暮せば	2 4 8 ~ 2 9 0	9		
○舞姫	2 9 2 ~ 3 2 8	1 0		
○演技する「私」 ○映画の可能性のために	3 3 0 ~ 3 4 6	1 1		
○葉桜と魔笛 ○蠅	3 4 8 ~ 3 7 4	1 2		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
国語	国語表現	4	1 2	2

使用教科書

東書	国表	702	国語表現
----	----	-----	------

目 標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 国語における表現や語彙を豊かにし、適切な表現技法を身に付ける。
- (2) 自身の考えや意見を、適切な表現を用いて表現し、他者に伝えることができる。
- (3) 積極的に様々な文章を書き、適切に表現する力を身に付けようとしている。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
○分かりやすく説明しよう	P16 } P25	1	1 2 月 1 5 日 (月)	7 月 2 5 日 (金) 1 2 月 1 2 日 (金)
○分かりやすく説明しよう	P26 } P33	2		
○身体で表現しよう	P34 } P43	3		
○「問い」を考えよう	P46 } P53	4		
○「問い」を考えよう	P54 } P61	5		
○「自分」を表現しよう	P66 } P79	6		
○論理的な文章を書こう	P82 } P97	7		
○論理的な文章を書こう	P98 } P109	8		
○話し合う力をつけよう	P112 } P123	9		
○情報活用力を身につけよう	P140 } P151	1 0		
○説得力のある提案をしよう	P154 } P165	1 1		

通信教育実施計画

○表現を楽しもう	P168 } P183	1 2		
----------	-------------------	-----	--	--

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
国語	古典探究	4	1 2	2

使用教科書

東書	古探	701	新編古典探究
----	----	-----	--------

目 標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 古典における文法事項や漢文法を適切に理解し、古文・漢文の読解を適切に行うことができる。

(2) 古典文学について適切に理解し、その古典に書かれている時代背景や作者の考え等について深く思考することができている。

(3) 古典を学ぶことを通して、我が国の言語文化について深く想いを巡らせることができている。古典を学ぶことで、教養を深め、現代社会を生きる生徒自身の生き方等に考えを深めることができている。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
○宇治拾遺物語 ○十訓抄 ○徒然草	P10 } P28	1	1 2 月 1 5 日 (月)	7 月 2 5 日 (金) 1 2 月 1 1 日 (木)
○方丈記 ○竹取物語 ○小倉百人一首の世界	P29 } P52	2		
○土佐日記 ○更級日記 ○平家物語	P54 } P74	3		
○世間胸算用 ○おらが春 ○枕草子	P76 } P92	4		
○伊勢物語 ○大和物語 ○大鏡	P94 } P116	5		
○袋草紙 ○無名抄 ○古今和歌集仮名序 ○源氏物語	P118 } P138	6		
○近世俳句抄 ○去来抄 ○三冊子 ○古事記	P140 } P156	7		
○小話一四編 ○唐詩一八種 ○文一二編	P158 } P180	8		
○項羽と劉邦 ○寓話一五編	P182 } P206	9		

通信教育実施計画

○十八史略 ○小話—三編	P208 } P226	1 0		
○古体詩—五首 ○廉頗と藺相如	P228 } P248	1 1		
○儒家と道家 ○詩—二首 ○信玄と謙信	P250 } P270	1 2		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
地理歴史	地理総合	2	6	1

使用教科書

東書	地総	701	地理総合
----	----	-----	------

目 標

- 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 - (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私が暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割	5 ～ 36	1	12月15日 (月)	7月22日 (火) 12月16日 (火)
第3章 資料から読み取る現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解	37 ～ 67	2		
2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境②気候	68 ～ 91	3		
4節 生活文化と産業 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題	92 ～ 135	4		
3節 人口問題 4節 食料問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題 7節 持続可能な社会の実現をめざして	136 ～ 72	5		
第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	173 ～ 12	6		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
地理歴史	歴史総合	2	6	1

使用教科書

東書	歴総	701	新選歴史総合
----	----	-----	--------

目 標

- 地理や歴史に関わる諸事象の知識や諸概念について理解する。
 知識をもとに社会について考察を深め、自分なりによりよい社会のあり方について考え、それを表現する。
 得た知識や他者の意見、歴史をふまえ、社会で起こる諸事象の価値判断ができるよう、公民的資質を涵養する。
- (1) 身のまわりの品々の価値や意味をよく理解し、我々が会うさまざまな困難の原因や意味を考える。
 - (2) 数多くの問いかけに対し、資料や教科書の本文を駆使して問いへの答えを自ら導き出す力を養う。
 - (3) 過去の人々の行動や出来事との関係を踏まえて、現代的な諸課題について考察し、表現していく。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
第1章 歴史の扉 第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 結び付く世界と日本の開国	P7 ～ P51	1	12月15日 (月)	7月22日 (火) 12月16日 (火)
3節 国民国家と明治維新 4節 近代化と現代的な諸課題	P52～ P83	2		
第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会	P84～ P111	3		
3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	P112～ P141	4		
第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済	P142～ P169	5		
3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望	P170～ P197	6		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
地理歴史	日本史探究	3	9	2

使用教科書

東書	日探	701	日本史探究
----	----	-----	-------

目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開 1節 1・2	7 ～ 3 3	1	12月15日 (月)	7月24日 (木) 12月12日 (金)
1節 3・4 2節	34 ～ 64	2		
第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開 1節	65 ～ 97	3		
2節	98 ～ 122	4		
第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展開 1節 1	123 ～ 14 4	5		
1節 2・3・4・5 2節	145 ～ 18 6	6		

第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展望 1節	187 ~ 21 7	7		
2節 3節 4節	218 ~ 26 9	8		
5節 6節 7節 8節 第4章 現代の日本の課題の探究	270 ~ 321	9		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
地理歴史	世界史探究	3	9	2

使用教科書

東書	世探	701	世界史探究
----	----	-----	-------

目 標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に関わる品々の価値や意味をよく理解し、我々が会おうさまざまな困難の原因や意味を考える。
- (2) 数多くの問いかけに対し、資料や教科書の本文を駆使して問いへの答えを自ら導き出す力を養う。
- (3) 過去の人々の行動や出来事との関係を踏まえて、現代的な諸課題について考察し、表現していく。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
序章 世界史へのまなざし				
第1編 諸地域の歴史的特質	P7～ P64	1		
第1章 古代文明の出現				
第2章 西アジアと地中海周辺				
第3章 南アジア	P65 ～ P99	2		
第4章 東南アジア				
第5章 東アジアと中央ユーラシア				
第6章 アフリカ、オセアニア、 古アメリカ	P100 ～ P121	3		
第2編 諸地域の交流と再編				
第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄				
第8章 中世ヨーロッパ	P122～ P159	4		
第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国				
第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア	P160～ P224	5		
第11章 大交易時代と世界の一体化				
第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄				
第13章 主権国家体制の形成と地球規模での 交易の拡大				
第3編 一体化していく世界	P225～ P258	6		
第14章 国民国家と近代社会の形成				
12月15日 (月)				7月24日 (木)
				12月11日 (木)

第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と 世界分割の進行	P259～ P297	7		
第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	P298～ P336	8		
第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア 第4編 グローバル化と地球的課題 第20章 冷戦の世界化と国際制度 第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会	P337～ P362	9		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
地理歴史	地理探究	3	9	2

使用教科書

東書	地探	701	地理探究
----	----	-----	------

目 標

地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付けます。選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付けます。

- (1) 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。
- (2) 世界諸地域の特性とそこで発生する諸課題について理解することで、現代世界の諸地域についての地理的認識を深めている。
- (3) 地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
地理探究へのステップ 1 2 3 第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1節 世界の地形 2節 気候と自然環境 3節 気候と人々の生活	P5～ P59	1	12月15日 (月)	7月24日 (木) 12月15日 (月)
4節 日本の自然環境と自然災害 5節 世界の環境問題 第2章 産業と資源 1節 産業の発展と社会的分業 2節 農林水産業 3節 食糧問題 4節 エネルギーと鉱産資源	P60～ P111	2		
5節 資源・エネルギー問題 6節 工業に立地と工業地域の変容 7節 大三次産業	P112～ P141	3		

第3章 交通・通信，貿易，観光 1節 交通・通信 2節 貿易と経済連携 3節 観光 第4章 人口，村落・都市 1節 人口	P142 ～P163	4		
2節 人口問題 3節 村落・都市 4節 居住・都市問題 第5章 生活文化，民族・宗教 1節 生活文化の地域性	P164～ P191	5		
2節 民族・言語・宗教 3節 民族問題 4節 現代の国家と領土問題 第2編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分の意義と方法	P192～ P215	6		

第2章 現代世界の諸地域 1節 東アジア 2節 東南アジア 3節 南アジア	P216～ P243	7		
4節 西アジアと中央アジア 5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ 6節 ヨーロッパ 7節 ロシア 8節 アングロアメリカ 9節 ラテンアメリカ	P244～ P287	8		
10節 オセアニア 第3編 現代世界と日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 1節 日本の地理的諸課題を読み解く 2節 持続可能な国土像の探究	P288～ P313	9		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
公 民	公 共	2	6	1

使用教科書

東書	公共	701	公共
----	----	-----	----

目 標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
第1部 「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方—共に生きるための倫理	7 ～ 35	1	12/15 (月)	7/25 (金) 12/10 (水)
第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	36 ～ 83	2		
第2章 法の働きと私たち	84 ～ 111	3		
第3章 経済社会で生きる私たち	112 ～ 145	4		
第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ1・テーマ2	146 ～ 173	5		
第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ3・テーマ4 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	174 ～ 212	6		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
公 民	倫理	2	6	1

使用教科書

東書	倫理	701	倫理
----	----	-----	----

目 標

社会の担い手として、様々な事象について判断をするために必要な諸原理等について理解を深める。
 よい生き方やよい社会について考察を深め、他者との対話的活動を通してそれらの表現を身につける。
 自分にとってよい生き方やよい社会とは何か、得た知識や他者の意見、先哲の考え等をふまえ自ら考えられるようになる。

- (1) 様々な先哲の思想について学び、諸資料を用いて深い思索のための概念や理論について理解する。
- (2) 先哲の思想や諸概念、理論を、現代社会や自己の課題と結び付け、よりよい自己の生き方あり方について考えを深める。
- (3) よりよい生き方あり方について、他者の考えをもとに自己の考えを相対化し、多面的、多角的に考える姿勢を涵養し、公民的資質を育成する

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方		1		
1章 人間の心のあり方	P8～			
2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	P42			
1節 哲学すること				
2節 ギリシャの思想				
3節 宗教と社会			12/15 (月)	7/25 (金)
4節 キリスト教	P43～	2		
5節 イスラーム	P81			12/10 (水)
6節 仏教				
7節 中国の思想				
8節 芸術				
3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ		3		
1節 近代と人間蘇張の精神	P82～			
2節 近代思想の展開	P120			
3節 人格の尊厳と人倫の思想				

通信教育実施計画

4 節 社会変革の思想				
5 節 理性への疑念				
6 節 人間観・言語観の問いなおし	P121～ P156	4		
7 節 他者・自然とのかかわり				
4章 国際社会に生きる日本人としての自覚				
1 節 日本人の精神風土	P157～ P198	5		
2 節 仏教と日本人の思想形成				
3 節 儒教と日本人の思想形成				
4 節 国学の思想				
5 節 庶民の思想				
6 節 西洋思想と日本人の近代化				
7 節 国際社会に生きる日本人の自覚	P199 ～ P235	6		
第2編 現代の諸課題と倫理				

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
公 民	政治・経済	2	6	1

使用教科書

東書	政経	701	政治・経済
----	----	-----	-------

目 標

社会の担い手として、様々な事象について判断をするために必要な諸原理等について理解を深める。
 よい生き方やよい社会について考察を深め、他者との対話的活動を通してそれらの表現を身につける。
 自分にとってよい生き方やよい社会とは何か、得た知識や他者の意見、先哲の考え等をふまえ自ら考えられるようになる。
 (1) 現代の政治や経済に関わる諸原理について、その内容や歴史をふまえ理解するとともに、私たちの生活に引き付けて考えることができる。
 (2) 現代の政治の本質や特質について考えを持ち、他者の考えをふまえつつ、自分の考えを持ちそれを表現することができる。
 (3) 社会の担い手として、授業やレポートにとどまらず社会で起こる事象に関心を持ち、それらの良し悪しについて自ら判断できるようになるための公民的資質を育成する。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原理 2節 日本国憲法の基本原理	P4～ P47	1	12/15 (月)	7/25 (金) 12/10 (水)
3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題	P48～ P79	2		
第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ	P80～ P118	3		
3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題	P119～ P155	4		
第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治	P156～ P203	5		
第2章 現代の国際経済 第3章 国際社会の諸課題	P204～ P254	6		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
-----	-----	-----	--------	----------

通信教育実施計画

数学	数学A	2	8	1
----	-----	---	---	---

使用教科書

東書	数A	704	新数学A
----	----	-----	------

目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 順列・組合せ, 確率, 図形の性質といった単元において基本的な考え方・法則を理解すると共に, 事象を抽象化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 計画・戦略立案等の具体的な場면을想像した上で, 予測可能な事象かどうかを着目し, 確率の概念に基づき事象を考察したり, 複雑に多数の構成要素が入り組む場を, 図形に抽象化した後に処理したりするなどの力を養う。
- (3) 事象の中に隠された数学的な法則や図形の性質の発見などを通して, 数学的論拠に基づいて事象を判断しようとする態度, 問題解決のプロセスを深く考察したり, 様々な解法を探したりしようとする態度を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
1章 場合の数と確率 1節 場合の数	P4～P21	1	12/15 (月)	7/24 (木) 12/9 (火)
2節 確率 ①～④	P22～P29	2		
2節 確率 ⑤～⑧	P30～P37	3		
2章 図形の性質 1節 平面図形の基礎	P40～P49	4		
2節 三角形の性質	P50～P57	5		
3節 円の性質 4節 空間図形	P58～P75	6		
3章 数学と人間の活動 1節 数や位置を表す 2節 数のつくりを調べる	P78～P91	7		
3節 はかる 4節 数学で遊ぶ	P92～P108	8		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面授授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
数学	数学B	2	8	1

使用教科書

東書	数B	702	数学B Standard
----	----	-----	--------------

目 標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数列, 漸化式, 数学的な考え方といった単元において基本的な考え方・法則を理解すると共に, 事象を抽象化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現したりする技能を身に付ける。
- (2) 計画・戦略立案等の具体的な場面を想像した上で, 予測可能な事象かどうかを着目し, 確率の概念に基づき事象を考察したり, 複雑に多数の構成要素が入り組む場を, 処理したりするなどの力を養う。
- (3) 事象の中に隠された数学的な法則や性質の発見などを通して, 数学的論拠に基づいて事象を判断しようとする態度, 問題解決のプロセスを深く考察したり, 様々な解法を探したりしようとする態度を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
1章 数列 1節 数列	P8～P26	1	12 / 15 (月)	7 / 23 (水)
2節 いろいろな数列	P27～P41	2		
3節 漸化式と数学的帰納法	P42～P57	3		
2章 統計的な推測 1節 標本調査 2節 確率分布	P58～P81	4		
3節 正規分布	P82～P91	5		
4節 統計的な推測	P92～P111	6		
3章 数学と社会生活 1節 数学的モデル化 2節 関数モデル 3節 確率モデル	P112～P130	7		
4節 幾何モデル 5節 フェルミ推定 巻末	P131～P149	8		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
数学	数学 I	3	9	2

使用教科書

東書	数 I	704	新数学 I
----	-----	-----	-------

目 標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
1 章 数と式 1 節 文字と式	3 2 ~ 4 7	1	1 2 / 1 5 (月)	7 / 2 4 (木) 1 2 / 8 (月)
2 節 実数	4 8 ~ 5 7	2		
3 節 方程式と不等式	5 8 ~ 7 1	3		
2 章 2 次関数 1 節 2 次関数とそのグラフ	7 4 ~ 9 1	4		
2 節 2 次関数の値の変化	9 2 ~ 1 0 1	5		
3 章 三角比 1 節 鋭角の三角比	1 0 4 ~ 1 1 6	6		
2 節 三角比の応用	1 1 7 ~ 1 2 7	7		
4 章 データの分析	1 3 0 ~ 1 4 7	8		
5 章 集合と論証	1 5 0 ~ 1 6 0	9		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
数学	数学Ⅱ	4	12	2

使用教科書

東書	数Ⅱ	717	新数学Ⅱ
----	----	-----	------

目 標

- 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
 - (2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
 - (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

学習計画

Q	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
1章 方程式・式と証明 1節 式の計算	4～11	1	12/15 (月)	7/23 (水)
2節 2次方程式	12～19	2		
3節 高次方程式 4節 式と証明	20～32	3		
2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式	34～51	4		
2節 円の方程式 3節 軌跡と領域	52～64	5		
3章 三角関数 1節 三角関数	66～77	6		
2節 加法定理	78～84	7		
4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数	86～95	8		
2節 対数関数	96～104	9		
5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数	106～115	10		
2節 導関数の応用	116～123	11		
3節 積分	124～133	12		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
理科	生物基礎	2	6	4

使用教科書

東書	生基	702	新編生物基礎
----	----	-----	--------

目 標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
1 編 生物の特徴	10～37	1	12/15 (月)	8/1 (金) 12/19 (金)
2 編 遺伝子とそのはたらき	42～71	2		
3 編 ヒトの体の調節 1 章 ヒトの体を調節するしくみ	76～99	3		
2 章 免疫のはたらき	100～117	4		
4 編 生物の多様性と生態系 1 章 植生と遷移	122～143	5		
2 章 生態系と生物の多様性	144～165	6		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
理科	物理基礎	2	6	4

使用教科書

東書	物基	702	新編物理基礎
----	----	-----	--------

目 標

- 自然の事物・現象についての理解を深め、観察、実験などに関する技能を身につける。
観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
- (1) 中学校までに学習した内容を基礎として、日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーに関わり、物体の運動と様々なエネルギーについて理解する。
 - (2) 理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を質的・量的な関係や時間的・空間的な関係など、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成すること。
 - (3) 物体の運動と様々なエネルギーに関わる基礎的な内容を扱い、日常生活や社会との関連を図りながら、物理学が科学技術に果たす役割などについての認識を深めさせ、科学的に探究する力と態度を育成する。

学習計画

学 習 内 容	レポート		スクーリング
	回	提出期限	
1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界	1	12/15 (月)	12/11 (木)
2章 力と運動の法則	2		
3章 力学的エネルギー	3		
2編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱	4		
2章 波	5		
3章 電気 4章 エネルギーとその利用	6		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
理科	化学基礎	2	6	4

使用教科書

東書	化基	702	新編化学基礎
----	----	-----	--------

目 標

- 自然の事物・現象についての理解を深め、観察、実験などに関する技能を身につける。
 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う
 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
- (1) 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
 - (2) 化学的な事物・現象についての観察、実験などを生徒がねらいを明確にして行うことを通して、具体的な性質や反応と結び付けて理解し、それを活用させ、化学的に探究する能力や態度、方法を身に付けさせる。
 - (3) 身近な物質とその変化への関心を高め、化学の学習は環境に配慮した上で、健康で安全な生活を送るために欠かせないものであることを理解し、自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
1編 化学と人間生活 1章 化学とは何か 2章 物質の成分と構成元素		1	12/15 (月)	8/1 (金) 12/12 (金)
2編 物質の構成 1章 原子の構造と元素の周期表		2		
2章 化学結合		3		
3編 物質の変化 1章 物質と化学反応式		4		
2章 酸と塩基		5		
3章 酸化還元反応		6		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
理科	科学と人間生活	2	6	4

使用教科書

東書	科人	701	科学と人間生活
----	----	-----	---------

目 標

自然の事物・現象についての理解を深め、観察、実験などに関する技能を身につける。
 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う
 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

- (1) 自然と人間生活との関わり及び、科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技術を身につけるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、自然と人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
- (3) 科学や科学現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
1編 生命の科学 1章 微生物とその利用	P14～P37	1	12/15 (月)	7/30 (水) 12/10 (水)
2章 ヒトの生命現象	P38～P65	2		
2編 物質の科学 1章 材料とその再利用	P66～P93	3		
2章 衣料と食品	P94～P115	4		
3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用	P116～P137	5		
2章 熱の性質とその利用	P138～P157	6		
4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球	P158～P179	7		
2章 自然景観と自然災害	P180～P207	8		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
理科	化学	4	1 2	7

使用教科書

東書	化学	701	化学
----	----	-----	----

目 標

物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡および溶液の性質、化学変化に伴うエネルギーの出入り、反応速度および化学平衡をもとに化学反応に関する概念や法則、無機物質の性質や反応、有機化合物の性質や反応、高分子化合物の性質や反応、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴を日常生活や社会と関連づけて学習内容を深めるとともに、化学的に探究する能力を高める。

- (1) 化学の事物・現象に関わり、科学的に探究しようとしている。
- (2) 化学の物事・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。
- (3) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
1 編 物質の状態 1 章 物質の状態 2 章 気体の性質	P9～ P43	1	1 2 月 1 5 日 (月)	今年度 履修登録 無し
3 章 溶液の性質 4 章 固体の構造	P44～ P88	2		
2 編 化学反応とエネルギー 1 章 化学反応と熱・光	P89～ P111	3		
2 章 電池と電気分解	P112～ P132	4		
3 編 化学反応の速さと平衡 1 章 化学反応の速さ 2 章 化学平衡 1 節 可逆反応と化学平衡	P133～ P161	5		
2 章 化学平衡 2 節 平衡の移動 3 章 水溶液中の化学平衡	P162～ P194	6		
4 編 無機物質 1 章 周期表と元素 2 章 非金属元素の単体と化合物 3 章 典型金属元素の単体と化合物	P7～P65	7		
4 章 遷移元素の単体と化合物 5 章 金属イオンの分離と確認	P66～ P100	8		
5 編 有機化合物 1 章 有機化合物の特徴と構造 2 章 炭化水素	P101 ～ P139	9		
3 章 アルコールと関連化合物	P140 ～ P171	1 0		

通信教育実施計画

4章 芳香族化合物 6編 高分子化合物 1章 高分子化合物とは何か	P172～ P215	1 1		
2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物 7編 化学が果たす役割 1章 化学的性質の利用と工業的製法 2章 未来を創る化学	P216～ P288	1 2		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
理科	生物	4	1 2	7

使用教科書

東書	生物	701	生物
----	----	-----	----

目 標

生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育て命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。

- (1) 生物の事象・現象に関わり、科学的に探究しようとしている。
- (2) 生物の事象・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。
- (3) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力が養われている。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化 2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 1節	P8～ P29	1	1 2 月 1 5 日 (月)	7 / 2 9 (火) 1 2 / 1 0 (水)
2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 2節～5節	P30～ P57	2		
3章 生物の系統と進化	P58～ P85	3		
2編 生命現象と物質 1章 細胞と物質	P86～ P127	4		
2章 代謝とエネルギー	P128～ P159	5		
3編 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報とその発現	P160～ P189	6		
2章 発生と遺伝子発現	P190～ P235	7		
3章 遺伝子を扱う技術	P236～ P261	8		
4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応 2章 動物の行動	P262～ P317	9		
3章 植物の環境応答	P318～ P367	1 0		
5編 生態と環境 1章 個体群と生物群集	P368～ P405	1 1		

通信教育実施計画

2章 生態系の物質生産と物質循環 3章 生態系と人間生活	P406～ P445	1 2		
---------------------------------	---------------	-----	--	--

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
理科	物理	4	1 2	7

使用教科書

東書	物理	701	物理
----	----	-----	----

目 標

- 物理的な事物・現象に対する探究心を高め、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけ見方や考え方を身につける。
- (1) 物理の事物・現象に関わり、科学的に探究しようとしている。
 - (2) 物理の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。
 - (3) 観察、実験などを行い、科学的に探究し、その結果を端的に表現できる。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
1 編 さまざまな運動 1 章 平面内の運動 2 章 剛体のつり合い	P8～ P42	1	1 2 月 1 5 日 (月)	今年度 履修登録 無し
3 章 運動量 4 章 円運動	P43～ P84	2		
5 章 単振動 6 章 万有引力	P85～ P120	3		
7 章 気体分子の運動	P121～ P158	4		
2 編 波 1 章 波の伝わり方 2 章 音	P159～ P188	5		
3 章 光	P189～ P230	6		
3 編 電気と磁気 1 章 電場と電位	P231～ 274	7		
2 章 電流	P275～ 302	8		
3 章 電流と磁場	P. 03～ 326	9		
4 章 電磁誘導と電磁波	P327～ 372	1 0		
4 編 原子 1 章 電子と光	P373～ 394	1 1		

通信教育実施計画

2章 原子と原子核 終章	P395～ 457	1 2		
-----------------	--------------	-----	--	--

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
保健体育	体育 I	3	1	9

使用教科書

大修館	保健体育	701	保健体育
-----	------	-----	------

目 標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。

(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学習計画

単 元	学習内容	スクーリング (実技)	レポート提出
体育理論	01 スポーツの始まりと変遷 02 文化としてのスポーツ		1 2 月 1 5 日 (月)
体づくり運動 球技 ニュースポーツ	体ほぐしの運動 バドミントン バレーボール バスケットボール フットサル 卓球 バウンドテニス インディアカ スポーツチャンバラ ボッチャ	1 0 月 1 2 日 (日) 1 0 月 1 3 日 (月・祝) 2 月 1 1 日 (水・祝) 2 月 1 2 日 (木)	
武道	弓道	1 0 月 2 2 日 (水)	
	トランポリン	1 0 月 1 0 日 (金)	

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
保健体育	体育Ⅱ	2	1	9

使用教科書

大修館	保健体育	701	保健体育
-----	------	-----	------

目 標

- 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (4) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
- (5) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (6) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学習計画

単 元	学習内容	スクーリング (実技)	レポート提出
体育理論	03 オリンピックとパラリンピックの意義 04 スポーツが経済に及ぼす効果		12月15日 (月)
体づくり運動 球技 ニュースポーツ	体のほぐしの運動 バドミントン バレーボール バスケットボール フットサル 卓球 バウンドテニス インディアカ スポーツチャンバラ ボッチャ	10月12日 (日) 10月13日 (月・祝) 2月11日 (水・祝) 2月12日 (木)	
武道	弓道	10月22日 (水)	
	トランポリン	10月10日 (金)	

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
保健体育	体育Ⅲ	2	1	9

使用教科書

大修館	保健体育	701	保健体育
-----	------	-----	------

目 標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(7) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。

(8) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

(9) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学習計画

単 元	学習内容	スクーリング (実技)	レポート提出
体育理論	05 スポーツの高潔さとドーピング 06 スポーツと環境		1 2 月 1 5 日 (月)
体づくり運動 球技 ニュースポーツ	体のほぐしの運動 バドミントン バレーボール バスケットボール フットサル 卓球 バウンドテニス インディアカ スポーツチャンバラ ボッチャ	1 0 月 1 2 日 (日) 1 0 月 1 3 日 (月・祝) 2 月 1 1 日 (水・祝) 2 月 1 2 日 (木)	
武道	弓道	1 0 月 2 2 日 (水)	
	トランポリン	1 0 月 1 0 日 (金)	

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
保健体育	保健	2	6	1

使用教科書

大修館	保体	701	現代高等保健体育
-----	----	-----	----------

目 標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
健康の考え方 ・健康のとらえ方 健康診断のおもな検査項目とその意味	P6～P17	1	12/15 (月)	7/25 (金) ※5時間目か 6時間目のど ちらかに参加
食事 運動 休養 喫煙と健康	P20～P29	2		
飲酒 薬物乱用 感染症とその予防方法	P30～P49	3		
事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 応急手当と心肺蘇生法	P60～P72	4		
ライフステージと健康 健康的な職業生活	P76～P97	5		
保険制度とその活用 医薬品と健康 大気汚染 水質汚濁 土壌汚染と健康	P100～P127	6		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
英語	英語コミュニケーションⅠ	3	9	5

使用教科書

東書	C I	701	All Aboard English Communication I
----	-----	-----	------------------------------------

目 標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を行う。

(1) 聞くこと

ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。

イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

(2) 読むこと

ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。

イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

(3) 話すこと〔やり取り〕

ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。

イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。

(4) 話すこと〔発表〕

ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。

イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。

(5) 書くこと

ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

通信教育実施計画

学習計画

学 習 内 容		ページ	レポート		スクーリング
			回	提出期限	
Lesson1	Breakfast around the World	P20～P37	1	12/15 (月)	7/28 (月) 12/16 (火)
Lesson2	Australia's Cute Quokkas				
Lesson3	A Train Driver in Sanriku	P38～P47	2		
Lesson4	A Miracle Mirror	P48～P59	3		
Lesson5	Learning from the Sea	P60～P73	4		
Lesson6	A Funny Picture from the Edo Period	P78～P87	5		
Lesson7	A Diary of Hope	P88～P97	6		
Lesson8	A Door to a New Life	P98～P111	7		
Lesson9	Fighting Plastic Pollution	P112～P121	8		
Lesson10	Pigs from across the Sea	P122～P131	9		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	12	7

使用教科書

東書	CⅡ	701	All Aboard English Communication Ⅱ
----	----	-----	------------------------------------

目標

- 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
- 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
- (1) 英語における文法や、慣用表現等、言語に関する事項を的確に理解することができる。本文に描かれる人物の考え方などを、根拠を明らかにしながら読み解き、それを適切に説明することができる。
- (2) エッセーや海外の小説、物語、随筆などを的確に読み解くことを通して、国際社会や世界文化に対する考えを深め、より広い視野をもってものごとを判断する力を伸ばすことができる。単元テーマについて自分の意見や考えを英語で明確かつ論理的に表現することができる。
- (3) 作品や物語に描かれる出来事や人物等を通して、現代に生きる自分自身や社会の有り様を見つめなおそうとする姿勢が見られる。自学自習を通して自身の英語力を高めることができる。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
Pre-Lesson My Plans for This Year	P8～	1	1 2 月 1 5 日 (月)	8 / 4 (月) 1 2 / 1 5 (月)
Lesson1 A Colorful Island	P19			
Lesson2 With the Beatles	P20～ P29	2		
Lesson3 Wild Men	P30～ P41	3		
Lesson4 Little Hero	P42～ P55	4		
Lesson5 Special Makeup in Kabuki	P56～ P69	5		
Reading1 <i>Mujina</i>	P70～ P77	6		
Lesson6 Seeds for Future Generations	P78～ P91	7		
Lesson7 Over the Wall	P92～ P105	8		

通信教育実施計画

Lesson8	Inspiration from Nature	P106～ P119	9		
Lesson9	The Bitter Truth behind Chocolate	P120～ P133	10		
Lesson10	Fighting Angel	P134～ P147	11		
Reading2	Bear's Pie	P148～ P155	12		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
外国語	英語コミュニケーションⅢ	4	1 2	7

使用教科書

東書	CⅢ	701	All Aboard English Communication Ⅲ
----	----	-----	------------------------------------

目 標

必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。

基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。

基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

(1) 英語における文法や、慣用表現等、言語に関する事項を的確に理解することができる。本文に描かれる人物の考え方などを、根拠を明らかにしながら読み解き、それを適切に説明することができる。

(2) エッセーや海外の小説、物語、随筆などを的確に読み解くことを通して、国際社会や世界文化に対する考えを深め、より広い視野をもってものごとを判断する力を伸ばす。

(3) 作品や物語に描かれる出来事や人物等を通して、現代に生きる自分自身や社会の有り様を見つめなおそうとする姿勢が見られる。

学習計画

学 習 内 容		ページ	レポート		スクーリング
			回	提出期限	
Lesson1	Gifts to Barcelona	P4～ P11	1	1 2 月 1 5 日 (月)	8 / 5 (火) 1 2 / 17 (水)
Lesson2	Akkamui	P12～ P19	2		
Lesson3	Your True Colors	P20～ P27	3		
Lesson4	Our Future Food?	P28～ P37	4		
Lesson5	Madagascar	P38～ P47	5		
Reading1	The Fun They Had	P48～ P53	6		
Lesson6	The Mystery of the Terracotta Warriors	P54～ P63	7		
Lesson7	Green Challenges	P64～ P73	8		
Lesson8	Witnesses of War	P74～ P83	9		

通信教育実施計画

Lesson9	The Wonders of Lightning	P84～ P95	1 0		
Lesson10	Katherine' s Long Journey	P96～ P105	1 1		
Reading2	Table for Two	P106～ P111	1 2		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
外国語	論理・表現 I	2	6	4

使用教科書

東書	論 I	701	NEW FAVORITE English Logic and Expression I
----	-----	-----	---

目 標

- 基本的な語句や文を用いて、
- ・文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどのやり取りを通して伝え合うことができる。
 - ・論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを話して伝えることができる。
 - ・論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを書いて伝えることができる。
- (1) 習得した表現を使って、身の回りのことや、自分の気持ちなどを英語で表現しようとしている。
 - (2) 日常で使用する基本的な英語表現を理解し、自身の言葉で表現することができる。
 - (3) その場に応じた適切な表現を使い分け、英語で作文することができる。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
Unit1 Lesson1 初めての食事 Lesson2 道に迷う Lesson3 人物紹介	P14～P31	1	12 / 15 (月)	7 / 28 (月) 12 / 17 (水)
Lesson4 体調が悪い Lesson5 買い物 Lesson6 行ってみたい場所	P32～P49	2		
Lesson7 イベントに誘われる Lesson8 スクールカウンセラーに相談 Lesson9 お気に入りを紹介	P50～P67	3		
Lesson10 待ち合わせに遅刻 Lesson11 家庭でのディスカッション Lesson12 英字新聞に投稿	P68～P87	4		
Unit2 Lesson1 クラウドでディベート① Lesson2 クラウドでディベート② Lesson3 経験談のスピーチ Lesson4 遊びやスポーツを紹介	P88～P111	5		
Lesson5 日本をPR Lesson6 物事の両面を伝える Lesson7 読み手を納得させる Lesson8 読み手を説得する	P112～P135	6		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教科	科目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
外国語	論理・表現Ⅱ	2	6	4

使用教科書

東書	論Ⅱ	701	NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ
----	----	-----	---

目標

<p>多様な語句や文を用いて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え、立場や状況が異なる相手と交渉することができる。 ・論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく話して伝えることができる。 ・論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく書いて伝えることができる。 <p>(1) 自分の活動を振り返りながら適切な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現しようとしている。</p> <p>(2) 修得した表現を理解し、自分の考えや気持ちなどを適切に表現する技能を身につけている。</p> <p>(3) その場に適切な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p>
--

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
Lesson1 友達に報告する Lesson2 日本での初登校 Lesson3 経験についてのスピーチ Lesson4 ファンレター	P8～P23	1	12/15 (月)	7/22 (火) 12/18 (木)
Lesson5 イベントに誘う Lesson6 図書館で資料さがし Lesson7 翻訳についてのスピーチ Lesson8 通信販売で返品依頼	P24～P39	2		
Lesson9 タクシーの乗る Lesson10 友達とディスカッション Lesson11 比較結果のプレゼンテーション Lesson12 就きたい職業	P40～P56	3		
Lesson1 クラスでディベート① Lesson2 クラスでディベート② Lesson3 クラスでディベート③	P58～P69	4		
Lesson4 調査結果のプレゼンテーション Lesson5 社会問題についてのスピーチ	P70～P77	5		
Lesson6 仮定して推論する Lesson7 比較して説明する Lesson8 読み手を説得する	P78～P90	6		

評価・単位修得認定の基準

<p>○レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。</p> <p>○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。</p>

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
外国語	論理・表現Ⅲ	2	6	4

使用教科書

東書	論Ⅲ	701	NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅲ
----	----	-----	---

目 標

- ・ 日常的な話題や社会的な話題について、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができる。
- ・ 日常的な話題や社会的な話題について、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができる。
- ・ 日常的な話題や社会的な話題について、論理の構成や展開を工夫して詳しく書いて伝えることができる。
 - (1) 自分の活動を振り返りながら適切な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現しようとしている。
 - (2) 情報や考えなどを効果的に伝える表現を身につけ、適切な論理の構成や展開を理解している。
 - (3) 情報を整理しながら考えなどを形成し、適切に英語で表現できる。

学習計画

学 習 内 容		ページ	レポート		スクーリング
			回	提出期限	
Lesson1	食糧問題について ディスカッションする	P14～P25	1	12/15 (月)	7/30 (水) 12/19 (金)
Lesson2	メールで近況を伝える				
Lesson3	学校新聞でアドバイスする	P26～P37	2		
Lesson4	宇宙についてスピーチする				
Lesson5	イベントなどを説明する				
Lesson6	理想の場所や時間を描写する	P38～P49	3		
Lesson7	日本の観光を プレゼンテーションする	P50～P61	4		
Lesson8	趣味について書く				
Lesson9	物事を分析して評価する	P62～P67	5		
Lesson10	学習環境についてディベートする	P68～P80	6		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
芸術	音楽 I	2	6	8

使用教科書

教育出版	音 I	701	音楽 I
------	-----	-----	------

目 標

- 1 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- 2 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- 3 自学自習の中でも主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
楽譜の知識 声という大切な楽器 西洋音楽史（中世、バロック）	P 12 108 110 114 146	1	1 2 / 1 5 (月)	7 / 2 2 (火) 7 / 3 1 (木) 1 2 / 1 5 (月) 1 2 / 1 7 (水) 1 2 / 1 8 (木)
音符と休符 日本の民謡と芸能 世界の音楽	P 46-49 104-107 146	2		
楽譜の知識 西洋音楽史（古典派） イタリア歌曲	P 22-27 111 147 149	3		
音程 西洋音楽史（ロマン派、オペラ）	P 110-112 128-130 146	4		
音程 拍子 パートと演奏形態 近現代の音楽（印象主義） 日本音楽史	P 96 103 146-147	5		
コードネーム 西洋音楽史のまとめ 近現代の音楽（バレエ） オーケストラの楽器	P 148	6		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
家庭	家庭総合	4	1 2	4

使用教科書

東書	家総	701	家庭総合
----	----	-----	------

目 標

生活の営みにかかる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
家族・社会との共生 第1章 生涯を見通す	P10～P19	1	1 2 / 1 5 (月)	7 / 2 5 (金) 1 2 / 8 (月)
第2章 人生をつくる	P20～P43	2		
第3章 子どもと共に育つ	P44～P75	3		
第4章 超高齢社会を共に生きる	P76～P93	4		
第5章 共に生き、共に支える	P94～P103	5		
生活の自立 第6章 食生活をつくる 1～4	P104～P125	6		
第6章 食生活をつくる 5～7	P126～P159	7		
第7章 衣生活をつくる 1～3	P160～P179	8		
第7章 衣生活をつくる 4～6	P180～P201	9		
第8章 住生活をつくる	P202～P229	1 0		

通信教育実施計画

第9章 経済生活を営む	P230～P251	1 1		
第10章 持続可能な生活を営む	P252～P267	1 2		
生活の創造 第11章 これからの生活を創造する				

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
情報	新編情報 I	2	6	2

使用教科書

東書	情 I	701	新編情報 I
----	-----	-----	--------

目 標

1. 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人の関わりについて理解を深めるようにする。
2. 様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
3. 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
1章 情報で問題を解決する	5～32	1	12/15 (月)	7/22 (火) 7/23 (水) 12/9 (火) 12/18 (木)
2章 情報を伝える	33～60	2		
3章 コンピュータを活用する	61～88	3		
4章 データを活用する	89～116	4		
5章 活動して提案する	117～149	5		
巻末	150～189	6		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数
情報	情報Ⅱ	2	6	2

使用教科書

東書	情Ⅱ	701	情報Ⅱ
----	----	-----	-----

目 標

- 1 多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。
- 2 様々な事象を情報とその結びつきとしてとらえ、問題の発見。解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。
- 3 情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。

学習計画

学 習 内 容	ページ	レポート		スクーリング
		回	提出期限	
実習編 1章 情報社会 01-04 2章 コンテンツ 05-12	P2～P29	1	1 2 / 1 5 (月)	7 / 2 2 (火) 7 / 2 3 (水) 1 2 / 8 (月) 1 2 / 1 7 (水)
実習編 3章 データサイエンス 13-18 4章 情報システム 19-23	P30～P52	2		
理論編 1章 情報社会 01-03 2章 コンテンツ 04-06	P54～P75	3		
理論編 3章 データサイエンス 07-12 4章 情報システム 13-16	P76～P106	4		
活用編 01-11	P108～P131	5		
資料編	P132～P151	6		

評価・単位修得認定の基準

- レポート・面接授業への取り組み状況及び年度末試験の結果を踏まえ、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価し、評定2以上の場合、単位を認定する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	学年
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間 1	1	1 年

指導目標

<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らの興味・関心をもとに課題を設定し、それを探究的に解決するための知識、技能を身に付ける。【知識及び技能】 ○ 探究の成果を整理・分析して発表することができるようにする。【思考力・判断力・表現力等】 ○ 自身の課題を社会の諸課題と結びつけることで、実社会や実生活とのつながりを意識し、自己の生き方の充実とよりよい社会の実現を主体的に目指していこうとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】
--

活動計画

活動内容	具体的な取り組み	目的・狙い	月
オリエンテーション	進路指導の目的と年間計画の説明	生徒の意識啓発と準備	4 月
大学・専門学校訪問 ボランティア活動参加	実際に出向き、キャンパス見学 や体験活動 地域や学校のボランティアに参加 体験談の共有と記録	進学先の理解促進 社会経験と自己理解の促進 職業理解と自己分析	7・8・9 月
体験データベース作成	訪問や体験内容をデータベース に記録・整理	情報共有と比較検討の材料作り	10 月
データベースの共有会 模擬面接 成果発表会 個別進路相談	生徒同士で情報を共有・討議 実践的な進路準備活動 データベースや体験をもとに個別指導 生徒の進路意識の明確化	他者の経験から学ぶ 自信と準備の強化	12・2 月

評価・単位修得認定の基準

評価のための試験は行わない。評定は無しとする
現場への訪問や体験を通してのデータベース作りや発表など研究成果物で評価する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	学年
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間 2	1	2 年

指導目標

<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らの興味・関心をもとに課題を設定し、それを探究的に解決するための知識、技能を身に付ける。【知識及び技能】 ○ 探究の成果を整理・分析して発表することができるようにする。【思考力・判断力・表現力等】 ○ 自身の課題を社会の諸課題と結びつけることで、実社会や実生活とのつながりを意識し、自己の生き方の充実とよりよい社会の実現を主体的に目指していこうとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】
--

活動計画

活動内容	具体的な取り組み	目的・狙い	月
オリエンテーション	進路指導の目的と年間計画の説明	生徒の意識啓発と準備	4 月
大学・専門学校訪問 ボランティア活動参加	実際に出向き、キャンパス見学 や体験活動 地域や学校のボランティアに参加 体験談の共有と記録	進学先の理解促進 社会経験と自己理解の促進 職業理解と自己分析	7・8・9 月
体験データベース作成	訪問や体験内容をデータベース に記録・整理	情報共有と比較検討の材料作り	10 月
データベースの共有会 模擬面接 成果発表会 個別進路相談	生徒同士で情報を共有・討議 実践的な進路準備活動 データベースや体験をもとに個別指導 生徒の進路意識の明確化	他者の経験から学ぶ 自信と準備の強化	12・2 月

評価・単位修得認定の基準

評価のための試験は行わない。評定は無しとする
現場への訪問や体験を通してのデータベース作りや発表など研究成果物で評価する。

通信教育実施計画

教 科	科 目	単位数	学年
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間 3	1	3 年

指導目標

<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らの興味・関心をもとに課題を設定し、それを探究的に解決するための知識、技能を身に付ける。【知識及び技能】 ○ 探究の成果を整理・分析して発表することができるようにする。【思考力・判断力・表現力等】 ○ 自身の課題を社会の諸課題と結びつけることで、実社会や実生活とのつながりを意識し、自己の生き方の充実とよりよい社会の実現を主体的に目指していこうとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】
--

活動計画

活動内容	具体的な取り組み	目的・狙い	月
オリエンテーション	進路指導の目的と年間計画の説明	生徒の意識啓発と準備	4 月
大学・専門学校訪問 ボランティア活動参加	実際に出向き、キャンパス見学 や体験活動 地域や学校のボランティアに参加 体験談の共有と記録	進学先の理解促進 社会経験と自己理解の促進 職業理解と自己分析	7・8・9 月
体験データベース作成	訪問や体験内容をデータベース に記録・整理	情報共有と比較検討の材料作り	10 月
データベースの共有会 模擬面接 成果発表会 個別進路相談	生徒同士で情報を共有・討議 実践的な進路準備活動 データベースや体験をもとに個別指導 生徒の進路意識の明確化	他者の経験から学ぶ 自信と準備の強化	12・2 月

評価・単位修得認定の基準

評価のための試験は行わない。評定は無しとする
現場への訪問や体験を通してのデータベース作りや発表など研究成果物で評価する。

通信教育実施計画

特別活動	3年間で30単位時間	全学年対象
------	------------	-------

1 学習目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

① 多様な他者と協同する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

② 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

③ 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

2 年間計画

日時	単位時間数	講座名	活動内容
11/19 18:00～	3	美星星空観察	せっかく井原に縁があつて興譲館の生徒になったので、美星町の星空保護区（美星天文台）で星の観察をする
10/17 11:00～	3	キャンドル製作	自分の感性のままに製作してください
10/20 9:30～	4	吹きガラス体験	実際にガラスを吹いてみましょう
11/2 10:30～ 11/9 10:30～	3 3	歴史を知る	日本の歴史 世界の歴史 少しマニアックに考えてみませんか
9/23 14:00～	4	オーケストラコンサート	芸術鑑賞として
10/21 7:10～	5	水族館バックヤードツアー	表は楽しんで、裏の大変さを知ってください
10/1 8:00～	5	水木しげるの戦記漫画展と 水木しげるロード散策	実際に漫画を描くということは、 どういうことか感じてみてください
10/28 8:00～	6	うどんつくりと 四国水族館見学	ものづくり体験
11/5 10:00～	4	岡山城・後樂園散策	岡山の歴史を感じてください
11/12 10:00～	4	美観地区散策	倉敷の歴史を感じてください

通信教育実施計画

10/11 10:00～	3	滝行体験	煩惱から解放されたいなら
2/3・4・5	10	修学旅行	卒業後の進路のことを考えて、見て聞いて体験しましょう
2/7 10:30～ 2/8 10:30～ 2/13 13:30～	3 3 3	歴史を知る	日本の歴史 世界の歴史 少しマニアックに考えてみませんか
2/10 18:00～	3	美星星空観察	せっかく井原に縁があって興譲館の生徒になったので、美星町の星空保護区（美星天文台）で星の観察をする

【特別活動の実施に関する注意事項】

- 1：参加の際には必ず事前申し込みをすること（参加希望を確認するので申請してください）
- 2：3年間で30単位時間の参加が必要ですが、1年間では10単位時間前後で計算して参加すること（無理をすることはありませんが、次年度にまとめて多くの講座に参加することは控えてください）